

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-372-5533

年度	平成30年度		
施設名	白根学習館(白根地区公民館)	所管部・課	教育委員会中央公民館
施設の設置目的	「個性と創造性をはくむ生涯学習のまちづくり」を進めるため、市民が生き生きと生活し、それぞれのライフステージの確立に向け、図書館、公民館、文化ホール機能を集約化し、生涯学習活動の増進に寄与することを目的に、学習館を設置します。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H30.5.30
歳入	3,595	正職員	7	修正日	
歳出	43,332	非常勤	4	評価日	R1.6.10

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標					H30結果
1	市民	市民に親しまれる生涯学習施設として、施設利用者数の向上を図る。	年間利用者数(人)	153,676	149,119	145,600	147,360	145,833	H27～図書館利用者を含んだ数値目標。過去2年の平均を目標値に計上	図書館利用者、南区成人式、学習館まつり、他貸館	利用者数は前年度実績から233増加したものの、目標達成はできなかった。施設全体において微減状況となっている	C:未達成
2	市民	各種サービス別満足度の向上	参加者の満足度調査で「満足」以上の割合を増やす。(%)	96	92	97	94	95.7	過去3年の平均を目標値に計上		満足度アンケート実施29事業の内、16事業が100%の満足度となった。引き続きニーズの把握に努め事業に反映していく	A:達成(優)
3	市民	市民団体などからの施設の積極的利用を図る。	会議室、ホールの稼働率の向上(%) 1コマ:1時間単位	39.3	44.8	41.2	43	40.5	過去3年の平均を目標値に計上		施設全体で微減傾向が続く中、ホールとプレイルームの稼働率がそれぞれ1ポイントと1.5ポイント減少したため、未達成となった	C:未達成
4	財務	効率的な施設運営を図る。	施設利用者1人あたりの運営経費(円)	285	291	304	298	307	H27～年間利用者数の算出根拠に変更した、数値目標。過去2年の平均を計上	H28～電力のデマンド計を設置し節電に取り組むほか、施設管理費全体の経費節減にも努める	節電など経常経費節減に努めたが、目標数値を達成できなかった。引き続きデマンド計を使った節電や経費節減に努める	C:未達成
5	業務	他機関、他団体との連携による事業を展開する。	連携事業の実施(回数)	25	24	31	27	38	自治会、学校、社会福祉協議会等と協働で講座、イベントを開催する過去3年の平均を目標値に計上	家庭教育学級、ボランティア講座等の講座開催	引き続き、他機関、他団体との連携に努め、協働して講座やイベントを開催する	A:達成(優)
6	業務	災害などの発生時に、迅速対応できる体制づくりを図る。	防災訓練の実施(回数)	2	2	2	2	2	消防設備の設置場所及び使用方法の確認、避難誘導経路の確認	防災マニュアルによる避難訓練を実施し、市民が安心して利用できる施設を目指す	緊急時における利用者の安全確保のため、防災マニュアルに従い、平日と休日を想定し、それぞれ訓練を実施した	B:達成
7	人材	職員として、施設目標を達成するうえで必要な知識やスキルの向上を図る。	人材研修の実施(回数)	2	2	1	2	2	ホールの照明・音響設備の操作講習会を職員に実施し、市民が安全、適切に利用できるよう支援する	ホール照明設備、音響設備の操作研修	利用者のサービス向上や安全にホールを利用してもらうための照明設備及び音響研修を実施した	B:達成
8	人材	人材育成	コンプライアンス研修年間実施回数1回以上	1	1	1	1	1			職場研修実施により、コンプライアンスの取組みや職員倫理原則を再確認することができた	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動、各種サークルなどの活動拠点の場として、公民館・学習館の活用により地域活性化に寄与します。 ・利用者数、稼働率の向上を図り、市民が利用しやすく、親しみやすい施設を目指します。 ・施設の管理的経費を抑え、使用料の収入を維持し、財務体質の強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、施設全体において微減傾向が続く横ばいの状況で、目標を達成することができませんでした。次年度、更に市民にとって利用しやすく、親しみやすい、地域の生涯学習の拠点となる施設を目指します。 ・施設管理については、電力のデマンド計を導入し、ピーク値の管理を行いながら、節電など経常経費の節減に努めましたが、原油価格の高騰等により電気料の燃料調整額がマイナスからプラスに変わり、目標数値を達成できませんでした。また、施設管理業務の人件費部分の増加傾向等により1人に当たり経費が増加しました。次年度も常に点検を行い、経常経費の節減に努めます。 ・事業については、地域関係団体等の連携を継続する中、地域活性化につながる事業を多く開催しました。次年度も地域コミュニティの活性化に寄与する事業を開催し、地域の課題解決に努めます。